

5 基本的な視点

本計画は、現行計画(情報化推進基本計画)の評価・検証を踏まえつつ、本市の状況や社会経済情勢の変化、情報通信技術の進歩を考慮し、次の視点にもとづき策定します。

■視点1 市民の視点に立った行政サービスの利便性の更なる向上

市民が利便性やサービスの向上を実感できる行政サービスを提供するため、市民ニーズの分析・抽出により、真に求められるサービス内容や質を目指し、市民の視点に立ち、市民満足度を向上します。

■視点2 活力のあるまちづくりに寄与するICT*の活用

市民が住みやすく、活力のあるまちづくりを目指すため、市民や地域の視点に立ち、地域を活性化するための取り組むべき課題の解決に向けて、ICTの適切な活用(コスト、安全性、効果)を推進します。

■視点3 組織的な統括管理機能の強化による行政の効率化・適正化の徹底

行政の効率化・適正化を徹底するため、情報システム全体の投資効果を高め、これを実行する人材の育成や確保を進め、情報システムの適切な利活用をマネジメントする組織的な統括管理機能を強化します。

*ICT(Information and Communication Technology)

情報や知識の共有、コミュニケーションを図るために活用する情報通信技術を意味します。

現行計画(情報化推進基本計画)の目標と本計画の基本的な視点

